



わきむら よしたろう

脇村 義太郎 氏

生年月日 明治33年12月6日生

住 所 神奈川県逗子市

明治33年（1900年）12月、西牟婁郡田辺町（現田辺市栄町）に生まれる。
経済学者。

石油問題に関する戦前からの権威者。東京帝国大学経済学部を卒業。同大学助教授となったが、昭和13年（1938年）、教授グループ事件に連座して休職。終戦後、東京大学に教授として復職し、貿易史、経営史を講ずる一方、経済安定本部参与、通商産業省顧問、船員中央労働委員会会長、海運造船合理化審議会委員など多くの政府関係役職を歴任。多くの専門的著書、論文がある。

昭和36年（1961年）、東大退官後も執筆活動とともに経営史学会会長、独占禁止懇談会会長、石油経済研究会座長等として活躍。

東京大学名誉教授、経済学博士、日本学士院会員。

勲一等瑞宝章。